

巳丁寛政録

九年三月

三

和書門		
一五八六	一八三	九
五	函	架
號	類	冊
六	三	冊

庫文閣内	
一五八六	和
函	六
一	二
内閣文庫	
番號	和 15865
冊數	63(35)
函號	164 44



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM Kodak



綴じ部(喉部分)の文字など開きが不鮮明な箇所あり



三月卯月書

松平恒重

京極 恒重

大井 大炊

大田 宗忠

淺草文庫

酒井 恒信

中川 恒清

村上 純隆

同文 筑前

松平 恒文

三月

一、若君御印是後御印位位存也三、家方水戸中親友  
昭方石品占之面、又、家方、並、法、高、法、高、法、高、法、  
波人、高、法、高、法、高、法、高、法、高、法、高、法、高、法、



一 初御以氣大層間言 宣旨 御位記語

御位

御位記語 宣旨 御位記語 宣旨 御位記語

右記之語中候東方宣旨

東坊城少御云

右記之語中候西方宣旨

若若若振退三位大御云 御位叙

宣旨宣旨宣旨入御位宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨

縁進持事宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨

宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨

宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨

宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨

宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨

宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨

宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨

宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨

宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨宣旨

御位記語



右 初使 中使 左坊城使

一 初使 中使 左坊城使

一 初使 中使 左坊城使

若若若極其言 御討敵 御同身不若若

公自取而後也 御方之外如使 而 於 於 於

老中如羽吉如若若如羽吉

松平如後也 井伊孫孫孫

若若若極其言 御益言若若若 御初年 御

公方極其言 御益言若若若 御初年 御

初使 御益言若若若 御初年 御

初使 御益言若若若 御初年 御

一 初使 御益言若若若 御初年 御

一 初使 御益言若若若 御初年 御

富言 御位能 御益言若若若 御初年 御

中條中條言 御益言若若若 御初年 御

御益言若若若 御益言若若若 御初年 御

御益言若若若 御益言若若若 御初年 御

一 御益言若若若 御初年 御

一 御益言若若若 御初年 御

右 初使 御益言若若若 御初年 御



大御門三位

右大臣藤原正長

御成國之儀勅之退云

御成國蓋別東之向也

但中御成中別在湯治之湯也

若若藤

御成國也

御成國也

御成力

御上殿法將之上

御成力

加冠

御成力

御成力

御成力

右大臣藤原正長

御成力

御成力

御成力

御成力

御成力

御成力

右大臣藤原正長

御成力

御成力

御成力

御成力

御成力

御成力

右大臣藤原正長

御成力

御成力

御成力

御成力

御成力



官言 御信記 出所 御書

一 善書 御書 御書 御書 御書

官言 御信記 御信記 御信記

公方 御書 御書 御書 御書

御一同 御書 御書

御書 御書 御書 御書

御書 一橋中納言

德川吉忠 德川吉忠

右高 御書 御書 御書 御書

右乃 御書 御書 御書 御書

御書 御書 御書 御書

御書 御書 御書 御書

御書 御書

御書 御書

御書 御書

御書 御書

御書 御書

御書 御書

御書 御書 御書 御書

御書 御書 御書 御書



延壽寺  
御原殿

仙洞  
延壽寺  
御原殿

中  
延壽寺  
御原殿

林  
延壽寺  
御原殿

西洞院  
延壽寺  
御原殿

公  
御原殿

中  
延壽寺  
御原殿

林  
延壽寺  
御原殿

二  
延壽寺  
御原殿

但  
御原殿

仙洞  
延壽寺



若若若御印之後、此後後、此方、同、  
心、之、之、夜、面、洞、院、持、系、此、後、後、之、進、言、也、  
御、方、御、之、戴、以、御、官、位、之、此、後、後、之、  
二、之、何、之、進、言、也、

但、同、也、

中、之、之、之、也、

若若若御印之後、此後後、此方、同、  
持、方、之、之、之、御、之、持、系、此、後、後、之、進、言、也、  
此、御、官、位、之、此、後、後、之、之、之、也、

但、同、也、

持、之、之、也、

若若若御印之後、此後後、此方、同、  
若、之、之、之、御、之、持、系、此、後、後、之、進、言、也、  
之、之、之、也、  
此、方、御、之、戴、以、御、官、位、之、此、後、後、之、  
之、之、之、也、

但、同、也、

此、洞、也、

若若若御印之後、此後後、此方、同、  
若、之、之、之、御、之、持、系、此、後、後、之、進、言、也、  
若、之、之、之、夜、面、洞、院、持、系、此、後、後、之、進、言、也、



御方力

以方極 御方裁決 御官位 御方候 御  
二方何事也云々云々

但同外

中宮

若若若極之進 御方候 御方候 御方候 御方候  
御方候 御方候 御方候 御方候 御方候  
御方候 御方候 御方候 御方候 御方候

但同外

右方候

奉陪

御方候

御方候

御方候

御方候

御方候

御方候

一條在在候

御方候

御方候

御方候

御方候

御方候

御方候

右方人 御方候 御方候 御方候 御方候 御方候



十帖二

右在福之家披卷

白富内侍

自方之水礼

此方同家  
是也

初修寺堂

西洞院

此方同家  
是也

寺修和堂

唐橋在寺

右在入院於法下展出水礼此方同家

即右方卷

所封教多中水合中上退卷

此方同家  
是也

土御門三位

右在法下展此方同家

十帖一

同家

在法下展

右在法下展此方同家

此礼之水披卷

同家

在法下展

右在法下展

同家

在法下展

右在法下展此方同家

披卷之水披卷

此方同家  
是也

此方同家  
是也

在法下展



右於法上候 御對候此方國源之家  
被參 御右之方是存候申此合中  
退去

此代留上光

此方國源  
三三三

廣橋左平官印

右御座於申候此礼此方國源之家被參  
御右之方是存候申此合中退去

此方國源

東坊城少納言

右此方國源被參申候此合中退去

此方國源被參申候此合中退去

此方國源

西洞院守

右御座於申候此礼此方國源之家被參  
被參 御右之方是存候申此合中退去

二條左衛門尉

此方國源

西村左衛門

右此方國源被參申候此合中退去

此方國源

一條左衛門尉

此方國源

保田左衛門



右御方同業右大臣持任之志申云々

屋邊六郎之友

水声仲綱之友  
水声仲好友

右御方之志申 御討敵志申被高也

御右之方志申云々 御後中志申云々

松平加加云々

右御方志申云々 御右之方志申云々

御後中志申云々 御後中志申云々

退任

松平徳後云々

井伊掃部云々

松平隠岐云々

松平若狭云々

右御方志申 御討敵志申云々

志申云々

松平頼家云々

右御方志申 御右之方志申云々

志申云々 御後中志申云々

松平豊後云々

右御方志申 御後中志申云々



上之... 中... 下...  
中... 上... 下...  
中... 上... 下...

地下

揚家方 使者

大徳寺... 在... 家...

上... 向... 徳...

山中... 徳...

初... 寺... 家... 大... 綱... 云... 云...

之入... 在... 京...

漢... 城... 隍... 人...

樂人... 如... 代...

存子... 过... 説... 河...

御... 爲... 習... 子... 師...

抄... 中... 三... 卷...

右... 之... 中... 抄... 源... 三... 卷... 在... 推... 爲... 氣... 三... 卷... 一... 同... 年... 依... 以...  
其... 者... 若... 抄... 多... 早... 之... 法... 抄... 以... 補... 障... 力... 中...  
其... 以... 衆... 居... 際... 三... 卷... 御... 水... 信... 代... 元... 之... 外...  
並... 居... 御... 同... 母... 元... 水... 經... 後... 中... 之... 者... 中...  
云... 上... 云...

御... 冠... 師... 了... 然... 曲... 結...

御... 冠... 師... 了... 然... 曲... 結...

存子... 本... 村... 北... 後...

御... 宗... 唐... 師... 了... 然... 曲... 結...

是... 村... 後... 路...



水戸三條

吉田二位侯

御所御用掛

右水次於水戸三條平伏出立奉書御所掛

後御所中候

御所御用掛

喜向侍候御所中候

御所御用掛

御所御用掛

御所御用掛

御所御用掛

御所御用掛

御所御用掛

御所御用掛

御所御用掛

御所御用掛

御所御用掛

御所御用掛

御所御用掛

御所御用掛

御所御用掛

御所御用掛



一 初段 深度 中之段 之舟 行

若若若若若 進 爲 水 如 丸 之 船

二 三方極 若若若若若 極 家 門 爲 方 年

初段 院 使 中 之 段 行 御 左 後 出 官 位

之 水 院 及 空 方 國 隊 以 文 之 左 上 院 御 行

獨 留 行

御 左 院 間 法 上 院

三方極 若若若若若 御 左 院 御 左 院

三方極 若若若若若 御 左 院

御 左 院 御 左 院 御 左 院

御 左 院 御 左 院 御 左 院

御 左 院 御 左 院 御 左 院

御 左 院 御 左 院 御 左 院

御 左 院 御 左 院 御 左 院

右 御 左 院 御 左 院 御 左 院

若若若若若 御 左 院 御 左 院

初 始

三方極

三方極

三方極

御 左 院

御 左 院

御 左 院

三方極

御 左 院

御 左 院

御 左 院



公方極云 正御代身御加云々 出此身  
之御盡 若若極云々 御代身云

正之御代身出加云々 付云々  
御代身 御代身云々 御代身 御代身  
御代身 御代身云々 御代身 御代身  
御代身 御代身云々 御代身 御代身

御代身 御代身云々

若若極 御代身云々 御代身云々

上云々云々 右御代身御代身 右御代身

御代身云々 御代身云々 御代身云々

出加云々 出加云々 出加云々

二神

公方極

御盡 御代身云々 御代身

公方極

御代身 御代身云々 御代身

若若極

御代身 御代身云々 御代身

御代身 御代身云々 御代身

公方極云 正之御代身御代身云々 御代身

之御盡 若若極云々 御代身云

正之御代身出加云々 出加云々 御代身云



出龍子入御盃門

三杯

公方極

公方極

御盃

御盃

出龍者...

若...

御盃

御盃

公方極云 公方極...

御盃 御盃...

御盃 御盃...

御盃 御盃...

公方極...

御盃...

御盃...

御盃...

公方極...

右...

御盃...

御盃

御盃

井...

...

...



弱を撰て因記

其臣治何如

御功

御加

公方極矣 正御加言正出蓋此非子載  
法方假中 曰蓋因也 同掃致法也  
既戴也而御功 然言手技也 法例  
持矣 御右方也 上服假際也 世同  
年也 正出假法 掃致法也 戴正座也  
同也 御功也 正出假法 曰正出假法  
世同掃致法也 曰正出假法 曰正出假法  
世同掃致法也 曰正出假法 曰正出假法

世同掃致法也 曰正出假法 曰正出假法

世同掃致法也 曰正出假法 曰正出假法

世同掃致法也 曰正出假法 曰正出假法

世同掃致法也 曰正出假法 曰正出假法

世同掃致法也 曰正出假法 曰正出假法

世同掃致法也 曰正出假法 曰正出假法

世同掃致法也 曰正出假法 曰正出假法

世同掃致法也 曰正出假法 曰正出假法

世同掃致法也 曰正出假法 曰正出假法



上意云々 運度出流子又流云々

公方御出札

公方御高 信

御方 信前承秀光 代全夜

御渡 御渡信前承秀光 御渡因色

御弓 主秀 一段

御矢 二指之助

御馬 御馬主定

右馬房 御同見出方同御出書有書

松平

但知御出書、御渡ハ出方限為ニテ、御出書ニ  
蓋ニ我御出書、御弓ハ弦ニテ、御出書ニ、松平御出書  
御出書ハ、御出書ニ、御出書ニ、

御方 代全夜

御馬 御馬主定

右馬房 御同見出方同御出書有書

御出書 御出書

御出書 御出書

御出書 御出書

御出書 御出書

松平肥後守

右馬房御出書

左馬房御出書

右馬房御出書

松平御出書



一方極其上下御如...  
中位上下同出...  
裁此同御方...

下右極其方...  
御上極極深...  
若若極其...

退言...  
凡出例...  
出產也...

此等者有...  
如左極其...  
退言...  
下位...  
御右...  
如羽...

若若極其...  
如羽...  
退言...  
如羽...



此處係札出此上進小力常、此節他後也  
納上、御方 佐前家也 伏乞字及此等者當於  
空家、一席、三卷、他後也 此處係札上向  
御方、此上高知、御方、上、進、此處係札子入  
此、此方、御方、一、早、御方、御方

松平他後也  
松平若後也

井伊掃部  
加納大和也

右此後後、此酒此酒於屋、此也

所書目

所書目

此中理三  
二種之足

加納大和也

此中理三  
二種之足

加納大和也

右此後後

若若若御方、此也

此也

加納大和也

右同、此也

若若若御方、此也

此也

此也

加納大和也

右此、若若若御方、此也

為此後後、此也



能得中納言及下

水理亮源吉

右御寮 出御身為出藏原三三及上於源  
福乃福徳三三

出御人

村松守右馬

右當口出程候為同出藏原三三及上於同

席福徳人

水理中納言及下

尾道大納言及下

下 御内膳

上 治部省加十部

能得中納言及下

水理中納言及下

村松守右馬

上 及造酒三三

右圓次身

若若御三三及上於同席福徳三三

若若御三三

水理中納言及下

水國正三三

右近衛三三出御内膳三三羽合身三三及上於

同席福徳人

日光出門松三三

二程三三

明王院



右中色 為常程候 且於上於候 必言福

但同

若若御事 同極 且於上於同席 福御事

右同 身所 三言 亦分 一程 亦言 中候

若若御事 且於上於同席 福御事

但能何及 亦言 略中 身 一程 亦言

右同

若若御事 同極 且於上於同席 福御事

但同

出後 亦言 亦言

出後 亦言

初使

院使

出後 亦言

出後 亦言

同友 同席

若若御事

右 御封 亦言 亦言

對馬 亦言 亦言

出後

出後 亦言

初御

若若御事 御名 亦言 亦言 亦言 亦言

若若御事 御封 亦言 亦言



一 崇月出初三均申及  
一 崇月出初五方出月書及及揚輝及  
一 對鳥及石收授及出雲 城

中書對

揚輝及

中書對

若若極深  
大綱之極  
中書極  
下中書

三月

三月

西九月

右分書身然  
中書極  
後若年書中

水野

右 淑雅若極  
什中書於



出家人家記

右國乃古寺及古寺年書於國席同人

法源寺

法源三 立政寺

三原

法源寺 信光昭寺

宗三祖王社大屋寺

遍照心院

右國乃古寺年書於柳古國人下後

三原寺子院

西宮院

二三

右國乃古寺年書於柳古國人下後

大徳寺下後

出振官

山宮寺下節

右國乃古寺年書於柳古國人下後

法源寺下後

右國乃古寺年書於柳古國人下後

右國乃古寺年書於柳古國人下後



水後之南言殿下

勅使

院使

中宮使

水後中條河内守

大德寺門前本堂

右所後官

大納言兼 御左衛門 御右衛門 御左衛門 御右衛門 御左衛門 御右衛門  
乞由能言 乞由能言 乞由能言 乞由能言 乞由能言 乞由能言  
乞由能言

水後内方官進言

尾張大納言

水後右大臣麻呂

水後中納言

同 同

水後中將及

右同乃為水後後代止云云  
後代乃為水後後代止云云  
後代乃為水後後代止云云

尾張大納言及傳言

水後中納言及傳言

治承六年十月

西宮門前本堂

水後中將及傳言

各職官及傳言

右

上後左大臣尾張守由能言  
後代乃為水後後代止云云  
水後中將及傳言



同程 上使在成下出和公等上而於既福  
乃福也同牙新同官門与

但同水

大綱云極上水新上於同席福同入  
對馬及水新牙之云云 城

水新

此三百例年之云也新之云云

伯家及水新之同也云 城

對馬及水新牙之云云 城

水新

伯中及水新

水新

中夜 御前極後三位 初評之為

在也安限向之云云

三月

伯前及水新

水新

大綱云極上水新及海分付十名是百和番也

御前 公方極 御前 還御後

大綱云極 御前 御前 御前



此卷因付出少自外來之書在初卷末之也  
之也

三月

攝津之及後

此因付下

喜三白紅舞山

御書

御書

例之也此書高書之也此類之也及後

三月

伯常書及後

此因付下

三月

御城中京之御書

攝津之及後

中之水門

中之水門

伯常書及後

此因付下

三月

御白書院中後

御書

中因之世而此因之書向只寫上之也

源深之水

或友在書

或向之馬



右居右 御同門左中右合中上

水禮障子同

右居間 後御中上段 御忌症

尾張大納言 水声中納言

水声中將及 松平加加多

右居左 御討敵左中拈多御能居

水礼左中上上

松平執事

右居席 御同門左中拈多御能居

水礼左中上上

右居及同家

御同門水禮障子左中同門水居左居

御忌症

大禮門左中拈多 初座守左中拈多

左中拈多納言 西洞院守中拈多

左中拈多納言 右御門三位

左中拈多納言 右中拈多

右同水礼間忌症 御討敵水能居

水礼左中上上 世而末症水禮代大右居

大右居及同 御同門水礼障



子開

右圖

右圖

玉持大谷其舟乃石室上何後是子其更代事合  
表之其家布衣也上出後人為凡其法官法解  
證師以之自出於之其為也

三月

信家及後

右圖

西凡此而也

公保國也

若年事之既多合下成之報其書之其也  
三月

三月

一 乞乞后別由書書院  
中形及松年加加多路松年執事也松年  
此後松年松年松年松年松年松年松年  
此松年松年松年松年松年松年松年松年  
右松年松年松年松年松年松年松年松年  
大谷同也 渡所玉持而也其方之舟也



學之而、外務方石以上更想、是合表、是合能  
令地院、獲得院、水、和、早、水、使、言、同、之、而、  
一、信、水、札、和、海、言、  
入、所、  
之、夜、即、是、被、即、官、位、水、海、以、為、水、程、成、以、官、  
水、程、以、信、身、以、身、之、同、登、城、國、角、之、信、身、以、  
國、將、氣、始、方、石、以、上、之、而、之、文、都、多、合、表、之、家、  
布、多、以、上、水、取、人、而、九、在、法、中、法、解、通、師、水、札、之、  
程、席、之、去、年、列、程、信、身、以、信、身、以、

紀傳中納卷及下

水部司也

右書司水程、成、為、同、地、程、其、之、信、身、以、信、身、以、  
乃、信、身、以、信、身、以、

但、國、所、

若、手、程、信、身、以、信、身、以、

信、身、以、信、身、以、

也、

之、色、上、別、海、表、也、  
水、部、司、別、海、表、也、

以、信、身、以、信、身、以、

以、信、身、以、信、身、以、

信、身、以、信、身、以、



海軍及不設之出資 城守 山出 山馬

澤田三郎及三六

昭野出門昭七同

聖書付

梅澤及出資

昭野付

三月 昭野 表向昭野

右同

昭野付

昭野十五

大綱之極 昭野之極 昭野之極

昭野

昭野之極 大綱之極 昭野之極

昭野之極

昭野之極 昭野之極 昭野之極

昭野之極 昭野之極 昭野之極

昭野之極 昭野之極 昭野之極

三月

昭野

昭野付



大綱之極 御定後 御官位古海名其光記為  
後而而 奉幸路 古海名其光記  
御國是古海名其光記  
右之也 古海名其光記

三月

右國

水國

大綱之極 御定後 御官位古海名其光記為  
御國是古海名其光記  
右之也 古海名其光記

三月官

大綱之極 御定後 御官位古海名其光記為  
御國是古海名其光記  
右之也 古海名其光記

水國

右國

水國

水國

右國

水國



荒川上流

水

行

水

橋

右水龍 府

右園 乃

石

然上

且

流

流

尾

水

水

水

松

右 御

御

松

松

右 御

子

初

子

西

子

去

子

之

右 御



三才... 同... 所... 水... 能... 和...  
... 海... 水... 亦... 水... 亦... 亦...  
... 海... 水... 亦... 水... 亦... 亦...  
... 海... 水... 亦... 水... 亦... 亦...  
... 海... 水... 亦... 水... 亦... 亦...  
... 海... 水... 亦... 水... 亦... 亦...

柳言

大御門... 右... 右...

勸修寺... 前... 前...

子... 程... 程... 中... 綱... 云...

西... 洞... 院... 宣... 守... 和...

廣... 橋... 大... 每... 宣... 和...

柳言

松... 三... 世... 後... 之... 後...

松... 年... 新... 前... 之... 茶...

松... 年... 在... 三... 房... 銘...

松... 年... 大... 三... 房... 去... 補...

水... 信... 代... 元...

水... 信... 代... 元...

表... 之... 言... 泉...

柳言

柳言

表... 向... 侍... 庭... 以... 上...

表... 向... 侍... 庭... 以... 上...

表... 向... 侍... 庭... 以... 上...

表... 向... 侍... 庭... 以... 上...

表... 向... 侍... 庭... 以... 上...

表... 向... 侍... 庭... 以... 上...

表... 向... 侍... 庭... 以... 上...



藤原公 出陣帳目

陸軍 地下

右院藤原公 出陣帳目 出陣理

出陣理

之羽 三書受

松行風流

三書

他官部 海軍部

又若松村の源に於ては、  
若松村の源に於ては、  
若松村の源に於ては、

三書

弓矢部 三書受 出陣帳目  
新左衛門 出陣帳目

福元部

仁在部

弓矢部 三書受 出陣帳目  
新左衛門 出陣帳目

栗原部

海軍部

羽衣部 三書受 出陣帳目  
三書受 出陣帳目

清水部 三書受 出陣帳目  
三書受 出陣帳目



程云 二十部 二十部 源七部 長江部  
權九部 昌江部

出能

出能抄簿之出能抄方松年加加多也年世  
流書古之知 御封教 御同因之也出能  
公家氣路出能何之而一編

御封教 御同因之也 御

水書中綱表及信

能得中綱表及信

昌江因信

材松軍書

右部表 御同因之也 御同因之也 御同因之也

御同因之也 御同因之也

御同因之也 御同因之也

出能

大綱表 御同因之也 御同因之也 御同因之也  
出能抄簿之出能抄方松年加加多也年世  
流書古之知 御封教 御同因之也出能  
公家氣路出能何之而一編  
御同因之也 御同因之也 御同因之也  
御同因之也 御同因之也 御同因之也  
御同因之也 御同因之也 御同因之也

御同因之也 御同因之也 御同因之也



許廷賢 謹啟

伯宗之友以經之同也 城

之友以能同也 亦神聖之友也 為出孔以日

之勤強也 少神聖之友也 志用之 接之 右圖

中合也

伯宗之友以經之同也 亦神聖之友也 為出孔以日

中書也

攝生之友也

右圖也

之友以能同也 亦神聖之友也 為出孔以日

之勤強也 少神聖之友也 志用之 接之 右圖

之友以能同也 亦神聖之友也 為出孔以日

右之也 亦神聖之友也

三月也

右圖也

右圖也

明也 許廷賢 謹啟

春之也 亦神聖之友也 志用之 接之 右圖

三月也



右同

出月分

三月

申水門架

建始

三月

一 色上別

部

初

初修守

院

西洞院

初

少程

中

居

右 山

柳

洞

中

大綱

御

大綱

出

大綱

御

初

少

御

御



初使 院使 中云此江洋原局云 径行各  
同入信也  
大綱云極小茂洋原局云 径行各初相書信  
去山門 在坊城云云 各  
大綱云極小洋原局云 径行各初相書信云云  
初使 院使 中云使一同初書信出飛洋原局云  
出飛中云云 出飛山門在坊城云云 各一同初書信  
出飛洋原局云 出飛中云云 出飛 御向板家  
云云 各初相書信云云

御向書院云  
右 御向書院云 御向書院云 御向書院云  
御向書院云 御向書院云 御向書院云  
御向書院云 御向書院云 御向書院云

大綱云極小洋原局云 径行各初相書信云云  
初使 院使 中云使一同初書信出飛洋原局云  
出飛中云云 出飛山門在坊城云云 各一同初書信  
出飛洋原局云 出飛中云云 出飛 御向板家  
云云 各初相書信云云

右 御向書院云 御向書院云 御向書院云  
御向書院云 御向書院云 御向書院云  
御向書院云 御向書院云 御向書院云  
御向書院云 御向書院云 御向書院云

右 御向書院云 御向書院云 御向書院云  
御向書院云 御向書院云 御向書院云  
御向書院云 御向書院云 御向書院云  
御向書院云 御向書院云 御向書院云



一

御白書院中書院

初使 隆慶 中書院中書院中書院

如左 林書院 仙洞 中書院

御白書院中書院 大綱書院御白書院 御白書院

中書院中書院 御白書院中書院中書院

辛卯年

公方御書

御白書院中書院

右同の

御白書院中書院

大綱書院

御白書院

同の

御白書院

御白書院中書院

公方御書

御白書院 初使等書院

御白書院 子種系中書院

御白書院 西洞院中書院

御白書院 廣橋院中書院

大綱書院

御白書院 初使等書院

御白書院 右同の 子種系中書院

御白書院 西洞院中書院

御白書院 廣橋院中書院



江戶夜討後  
二 幸夜討後  
二 幸夜討後  
右之邊於御白書院坐候  
御守御書院  
三年正月

御守御書院  
御守御書院  
御守御書院  
御守御書院

御守御書院  
御守御書院  
御守御書院  
御守御書院  
御守御書院  
御守御書院  
御守御書院

女御門三位  
左衛門少輔  
右衛門少輔

御守御書院  
御守御書院  
御守御書院  
御守御書院

御守御書院  
御守御書院  
御守御書院  
御守御書院  
御守御書院  
御守御書院  
御守御書院



二子夜

抄中若他

二子夜

是村澄臨

右水雁二身三命四命五命六命七命八命九命十命十一命十二命十三命十四命十五命十六命十七命十八命十九命二十命二十一命二十二命二十三命二十四命二十五命二十六命二十七命二十八命二十九命三十命三十一命三十二命三十三命三十四命三十五命三十六命三十七命三十八命三十九命四十命四十一命四十二命四十三命四十四命四十五命四十六命四十七命四十八命四十九命五十命五十一命五十二命五十三命五十四命五十五命五十六命五十七命五十八命五十九命六十命六十一命六十二命六十三命六十四命六十五命六十六命六十七命六十八命六十九命七十命七十一命七十二命七十三命七十四命七十五命七十六命七十七命七十八命七十九命八十命八十一命八十二命八十三命八十四命八十五命八十六命八十七命八十八命八十九命九十命九十一命九十二命九十三命九十四命九十五命九十六命九十七命九十八命九十九命一百

御免後御免後付

大綱云極不

法三接及同接三

押法新大舟紀

二事接同接二

山口少内紀

三事接同接三

玉京寺寺堂大元

四事接同接四

玉京寺寺堂大元

定身律法家來

法三接及同接三

西寺寺堂大元

同云

右同云二身三命四命五命六命七命八命九命十命十一命十二命十三命十四命十五命十六命十七命十八命十九命二十命二十一命二十二命二十三命二十四命二十五命二十六命二十七命二十八命二十九命三十命三十一命三十二命三十三命三十四命三十五命三十六命三十七命三十八命三十九命四十命四十一命四十二命四十三命四十四命四十五命四十六命四十七命四十八命四十九命五十命五十一命五十二命五十三命五十四命五十五命五十六命五十七命五十八命五十九命六十命六十一命六十二命六十三命六十四命六十五命六十六命六十七命六十八命六十九命七十命七十一命七十二命七十三命七十四命七十五命七十六命七十七命七十八命七十九命八十命八十一命八十二命八十三命八十四命八十五命八十六命八十七命八十八命八十九命九十命九十一命九十二命九十三命九十四命九十五命九十六命九十七命九十八命九十九命一百

水便大元右寺堂

水便大元右寺堂

法三接及同接三

大智山門家堂在

大智山門家堂在

大智山門家堂在

右同云二身三命四命五命六命七命八命九命十命十一命十二命十三命十四命十五命十六命十七命十八命十九命二十命二十一命二十二命二十三命二十四命二十五命二十六命二十七命二十八命二十九命三十命三十一命三十二命三十三命三十四命三十五命三十六命三十七命三十八命三十九命四十命四十一命四十二命四十三命四十四命四十五命四十六命四十七命四十八命四十九命五十命五十一命五十二命五十三命五十四命五十五命五十六命五十七命五十八命五十九命六十命六十一命六十二命六十三命六十四命六十五命六十六命六十七命六十八命六十九命七十命七十一命七十二命七十三命七十四命七十五命七十六命七十七命七十八命七十九命八十命八十一命八十二命八十三命八十四命八十五命八十六命八十七命八十八命八十九命九十命九十一命九十二命九十三命九十四命九十五命九十六命九十七命九十八命九十九命一百

何龍寺山印接及同接三

御免後御免後付

二事接同接二

水便大元右寺堂

御免後御免後付

御免後御免後付

御免後御免後付



右園

廣安長江

千種氣中綱云

年終時同後六

同同人

許定後所信後有同

西洞院

同同人

御定後所信後有同後六

廣安長江

同行年久

大板門前在右

付後十

右所取身之

北邊

御定後所信後有同後六

堀田

御定後所信後有同後六

系部可道師

御定後所信後有同後六

池田

右 御定後所信後有同後六

御定後所信後有同後六

御定後所信後有同後六

御定後所信後有同後六

御定後所信後有同後六

御定後所信後有同後六

御定後所信後有同後六

御定後所信後有同後六

御定後所信後有同後六

御定後所信後有同後六

右 御定後所信後有同後六



源福多福何意也

但同以

大綱之極也極極之極為同於同極

何意也

也

之已上別即表也

也

初後既後中之後即返答也海中

大綱之極即表也出即公家也

即對極也海中

即三百也極也

公方極大綱之極即同

也

即自遠所以後即表也

即表代即極也

大綱之極也

伯家也及即極也

即自山王

大綱之極

即自也事方也即定也

即自也事方也



一 昨日還所後一摺及右邊一摺及西邊一摺及...

空書付

插洋皮皮

出園付上

昨日還所後一摺及...

大綱三摺並同

御系諸所依採

右邊一摺及...

三月旨

右園

出園付上

昨日旨

公方極

大綱三摺

還所後一摺及...

西邊一摺及...

御系諸所依採

御系諸所依採

右邊一摺及...

三月旨

御系諸所依採

實見



三月八日

蓮光院秋七面出忌

御名代

若年身

右之身事

三月三日

一 御名代 御名代 御名代 御名代 御名代

大綱之極為 御名代 御名代 御名代 御名代

空方一極身人皇身也 御名代 御名代 御名代 御名代

東院帝 御名代 御名代 御名代 御名代

五勸修

御名代

大綱之極 御名代 御名代 御名代 御名代

日光 御名代 御名代 御名代 御名代

皇身

御名代

日光

大綱之極 御名代 御名代 御名代 御名代

皇身

御名代

御名代

右之身事

但澤院也 御名代 御名代 御名代 御名代

御名代 御名代 御名代 御名代 御名代



御文

公方極 大綱之極御同 御文指已上列

之極 還御

還御以後之御事 惣御事之極上為

御名代御事之御事之極上為

大綱之極上為 御名代御事之極上為

此同御事之極上為 御名代御事之極上為

御名代御事之極上為 御名代御事之極上為

大綱之極上為 御名代御事之極上為

御名代御事之極上為 御名代御事之極上為

御名代御事之極上為

御名代御事之極上為 御名代御事之極上為

右

公方極 大綱之極 還御以後為同御事

御名代御事之極上為 御名代御事之極上為

右同御事之極上為 御名代御事之極上為

御名代御事之極上為 御名代御事之極上為

御名代御事之極上為

大綱之極上為 御名代御事之極上為

御名代御事之極上為 御名代御事之極上為



公之極 大綱書錄 御同列 御系錄

已上列 遠所 御系

明寺 大綱書門 京右官上卿

澄原院極

高其書院極

御系

西洞院 京右上卿

澄原院極

御系 子種中納言

心源院極

御系 廣揚屋左衛門尉

東坊城 高納言 京右侍 上卿

御系 御系 廣揚屋左衛門尉 御系 廣揚屋左衛門尉

上之國 出位 廣揚屋 京右侍 上卿 成

書書

御系 廣揚屋

出位

三月

大綱書門 京右官 上卿

澄原院極 高其書院極 御系 京西洞院

澄原院極 御系 京西洞院

心源院極 御系 廣揚屋左衛門尉



坊然少綱云云君仍後在左殿山

御宮 御堂屋坊上寺 御堂屋左福牙

東殿山

忘門

中堂張

中坊角

大龍潭極

左有深極

深極深極

名無和也

三天門

常憲深極

有極深極

右基深極

三天門

御堂屋左福牙

忘門

打耳之記

右田云作也

右法右系交

六角之殿

松平右第主

左殿深極  
左有深極  
深極深極  
三天門  
深極

坊上寺

忘門 石橋 山門 表門

文昭深極 三天門

右有深極 三天門

惟心深極

松平右第主

中條山城 右馬之記



右三... 右三... 右三... 右三... 右三... 右三... 右三... 右三... 右三... 右三...

东殿山

水国府上

恩門

給人寺人  
住士或人  
住士或人

恩門

給人寺人  
住士或人  
住士或人

中堂院

住士寺人  
住士或人

中坊角

住士寺人  
住士或人

右憲院極

右德院極

右重院極

三天門

給人寺人  
住士寺人  
住士或人

右憲院極

右重院極

右德院極

三天門

給人寺人  
住士寺人  
住士或人

中堂院極

恩門 田外

右重院極

右德院極

右憲院極

三天門 田外



塔下寺

嘉門

信人 寺人  
信士 寺人  
信僧 寺人

山門

信士 寺人  
信僧 寺人

文信院

二天門

信人 寺人  
信士 寺人  
信僧 寺人

石橋

信人 寺人  
信士 寺人  
信僧 寺人

嘉門

信士 寺人  
信僧 寺人

有章院

信信院

二天門

信人 寺人  
信士 寺人  
信僧 寺人

三月廿一日 敬告

梅津寺及山後

出園付

御定後 御定後 御定後

三月廿一日

喜向寺

右之寺

信人 寺人

小集

取動及當月卜向屋邊及上寺



三月廿七日 三月 三月廿七日

三月廿七日

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎



右後式部省遠年白旗司之志中列在  
御名万部 後永年為中侍

小宮信

石川三波吉延

能登守正吉子

山本海三郎

後日向康吉

小宮信

世田谷信長吉延

上杉高直吉延

後田文三郎

同山崎吉延

源江前吉延

東山吉延

右同前之高旗御名司同前後之志

一 伯中吉延身吉延 城

水島秋

一 昭日吉延

遠光院御七回御志身

御名吉延 御廟系吉延

吉延少輔及吉延 後吉延

一 伯中吉延身吉延身吉延

城吉延

三月八日

一人朝上野



波所陸極 仰其氣上為 仰其氣上為  
對其氣上為 仰其氣上為 仰其氣上為  
仰其氣上為 仰其氣上為 仰其氣上為

之綱也國氣 仰其氣上為 仰其氣上為  
蓮花院柳 仰其氣上為 仰其氣上為

仰其氣上為 仰其氣上為 仰其氣上為  
仰其氣上為 仰其氣上為 仰其氣上為  
仰其氣上為 仰其氣上為 仰其氣上為

但七日也忌也法事 仰其氣上為

仰其氣上為

仰其氣上為

兎

仰其氣上為

仰其氣上為

仰其氣上為

仰其氣上為

右於 仰其氣上為 仰其氣上為

仰其氣上為

仰其氣上為

仰其氣上為

仰其氣上為

仰其氣上為

仰其氣上為

右 仰其氣上為 仰其氣上為 仰其氣上為  
仰其氣上為 仰其氣上為 仰其氣上為

仰其氣上為 仰其氣上為 仰其氣上為  
仰其氣上為 仰其氣上為 仰其氣上為



御衣極出用也

西尾

御衣出用也

上喜信延海日三信立宛

西尾村年寄

母友立御也

右衣 信有命於同席列座同家同令後  
信有同家

出同願也

山中去所係

百五十三所係

西尾出同願也

信有同家 信有命於同席列座同家同令後

出同願也

馬場勅乃

出同願也

日光 御宮 御衣 出同願也

出同願也

出同願也

江原源之節

出同願也

日光 御宮 御衣 出同願也

出同願也

右於同席列座同家同令後



新書

松平因房元祖

園 忠良

於 松平因房

三尾源三郎

小野源三郎

山中忠三郎

小林十左衛門

小野源三郎

信 長

田淵和久

松本信三郎

本村信三郎

大野信三郎

市橋信三郎

辻 三水

河内信三郎

於 河井信三郎

淺井信三郎

新書

松平因房元祖

六右衛門

於 小野源三郎

五右衛門

赤松信三郎

永福信三郎

三川信三郎

島田信三郎

信 長

内房信三郎

長井信三郎

大野信三郎

中川信三郎

左衛門信三郎

遠藤内通信三郎

田村信三郎

友室信三郎

赤松信三郎



黃嶽於三子帝

左山久之傍

曰若源傍

城內有穴

少許十古也

去同七尺

郭在臨河之北

於 壬子及推是

二 菅沼玄白

二 古里之

少加立傍

如之

於 穴 岩 古

建初同西

武源

方回

西見

少許

建初

小字

萬年

右高凡影... 後... 萬年

此作事

行

全三

右日光... 社... 後

於... 後

此作

此作

後

山



出位後夜

出位後夜

張十校

申清無古名

二夜

大原守三郎

〃

清田勘三信

〃

清末友三郎

日光 御宮御極堂社出位後夜為所用是也

〃

出位後夜

清夜

中村海峯

日光 御宮 御極堂社出位後夜為

右位後夜 出位後夜 出位後夜

出位後夜

〃

川清宗瑞

〃

右位後夜

〃

松平伸温

〃

増山長南

右位後夜

仙石鐵齋

南谷以馬水  
右位後夜

右位後夜

中宮後夜 出位後夜 出位後夜

右位後夜

城於三帝禮弓宿高平

出位後夜



一 正月 大綱云 御名被 御官位 未詳

出龍云 為 謹言

一 御名及 以於 御官位 未詳

一 御名 御官位 未詳

御名

御名及 未詳

御名

二月 御名

御名 御官位 未詳

御名 御官位 未詳

御名 御官位 未詳

御名 御官位 未詳

三月 御名

御名 御官位 未詳

御名 御官位 未詳

御名 御官位 未詳

右

御名 御官位 未詳

右 御名 御官位 未詳

出御

御名 御官位 未詳

御名 御官位 未詳

御名 御官位 未詳



尾後大綱及 水戸中綱及 水戸中將及  
右略之云如常席也此云乃國語也中極多也  
即右之方之云是性也後成市之言也中云云  
意中乃而大合云云

右如常席也此云乃國語也

松平如常席  
松平如常席

右三人宛也乃國語也

井伊掃部頭  
松平若狹

右如常席也此云乃國語也  
此云乃國語也此云乃國語也  
此云乃國語也此云乃國語也  
此云乃國語也此云乃國語也

松平如常席

右在乳之也乃國語也

松平如常席

右在乳乃國語也

松平如常席

右在乳等國語也早云此云之也後成市之言也  
此云乃國語也此云乃國語也



若同嫡子之謂之方海於後同嫡子之謂之方  
年路卷一 城之商之宗而句世所言之出札之方  
信書於法而於法後人由直也而性坦 但三年六月十八日  
一同出札也後殿中上高也中云云

松平恒重

吉岡 仙守

水野 忠清

戶田宗忠

安房 守

相馬 守

右出方同族並出札

御意

一 大層同守候

松平筑前守

尾張守

松平掃部

松平清直

松平左衛門

松平長政

友室 和

松平大守

右馬 守

上松平 守

依行 守

松平 守

何 守

松平 守

松平 守

松平 守

酒井 守

右出方同族並出札

三出札

松平 守

友室 守



五馬土後分

松平九馬水

三池御書

柳名武整備

酒井推書

松平九馬書

右堂方家由右方因縁持系由右後由方居三門

三池三池三池三池三池三池三池三池三池三池

知御由方居際

三池方在由上二面

父方及三池三池三池三池三池三池三池三池三池

城三方表三池

林方及方合因由何書院書少書院但由縁由

方由由方大由書少入三池三池三池三池三池三池

但三池三池三池三池三池三池三池三池三池

三池三池三池三池三池三池三池三池三池

早三池三池三池三池三池三池三池三池三池

但由書方三池三池三池三池三池三池三池三池三池

世節大下

若年三池

加納三池

水測三池

三池三池三池

右堂方因縁持系由三池三池三池三池三池三池

入御三池三池三池三池三池三池三池三池三池

新由書組三池三池三池三池三池三池三池三池三池

由由右由書由二同由



右同列 牙方石以上係以知少隱居之面  
以傳之空同源誌上之於務之福後同傳  
但空同源誌上之面之於後之誌上

右同列 牙  
大綱之條上之空方同源以傳之於上之於  
同傳之福後之誌上

但同列

右同列 牙方石以上係以知少隱居之面

所云之條上之方石以上係以知少隱居之面  
之面之於後之誌上之於後之誌上  
之面之於後之誌上之於後之誌上

空方同源以傳之於上之於

一程于上

但同列 牙方石以上係以知少隱居之面

空方同源以傳之於上之於

但同列 牙方石以上係以知少隱居之面

空方同源以傳之於上之於

右同列 牙方石以上係以知少隱居之面

但大綱之條上之於務之福後同傳  
以傳之空同源誌上之於務之福後同傳

空方同源以傳之於上之於

但同列 牙方石以上係以知少隱居之面

空方同源以傳之於上之於

但同列 牙方石以上係以知少隱居之面

空方同源以傳之於上之於

但同列 牙方石以上係以知少隱居之面



三程定

水部中郎及

三程定

德川右大臣及

三程定

水部中郎及

右同知為水部中郎及

大綱云振之於七卷之尾邊及水部及水部

中及及水部右水部中郎及水部中郎及

忠信之原及書部

水部中郎及

一程定

水部中郎及

同知人

水部中郎及

水部中郎及

同知人

一程定

水部中郎及

同知人

水部中郎及

右同知及水部

大綱云振之於七卷之尾邊及水部及水部

中及及水部右水部中郎及水部中郎及

水部中郎及

水部中郎及

水部中郎及



陸奥守

昌滿内膳

右同以 牙位 押渡及 至 總院及 洋所也

為出札  
公方極 大綱之極 公方 於 極 留 言 留 出 國  
竹 郭 田 倉 門 言

公方極 一程 是

自 奉 院 後 使

大綱之極 二程 是

公 中 正 物

御 公 極 一程 是

右同以 牙位 公 同 以 留 出 例 氣 是 記

同 言

但 以 便 出 對 於 公 方 極 也

大綱之極 御 公 極 公 方 極 公 方 極 公 方 極 公 方 極

公 方 極 公 方 極

能 得 中 綱 處 也

村 松 守 門

右 大綱之極 押 渡 之 後 押 渡 位 公 方 極 公 方 極

諸 公 高 公 極 公 方 極 公 方 極 公 方 極 公 方 極

但 同 以

大綱之極 公 方 極 公 方 極 公 方 極 公 方 極

御 公 極 公 方 極 公 方 極







三月十日

西儀書

西儀書

西儀書

西儀書

西儀書

西儀書

西儀書

西儀書

西儀書

西儀書

西儀書

西儀書

西儀書

西儀書

西儀書

西儀書

西儀書

西儀書

西儀書

西儀書

西儀書

西儀書

西儀書

西儀書

西儀書

西儀書

西儀書

西儀書

西儀書

西儀書

西儀書

西儀書

西儀書

西儀書

西儀書

西儀書



右方極大相齋  
合信

松平上総守

右圖以牙心使... 但此處... 上原... 同入

一程子建

同入

右圖以牙心使

大綱云極...

但此處...

水田

一 穀之物及...

大綱云極...

但此處...

昨日同...

中書符

水田

但此處...

水田

昨日同...

但此處...

昨日同...



第一...  
二月

三月

一 仁科坊上寺

信信院様

御書氣上為

御在代如多摩守左衛門尉出目守出使番在  
左理亮之御出使左衛門尉守出使番在御出  
福澤宗三郎之御出使番在

出使羽衣海老帝

御出使番在御出使番在御出使番在御出使番在

御出使番在御出使番在御出使番在御出使番在

御出使番在御出使番在御出使番在御出使番在

右之邊 仁科

大西高元

三木茂隆

右御守出目渡之御出使番在御出使番在御出使番在

御出使番在

出使御方

御出使

御出使







不... 但... 是合... 編...

右... 係... 臣...

臣...

右... 臣... 臣...

臣...

右... 臣...

臣...

臣...

臣...







城跡所之福多事

能守中細之及後事

水田前中事

池所古事及後事

村松古事

水田中細之及後事

能守中細

水田前中事及後事

村松古事

右圖乃身之古事於新古事福中例氣

但大綱之振中振始之古事同之於同席福

古事

日光出門法

修居

古事

昭王院

右圖乃身之古事於新古事福中例氣

是於因福

但大綱之振中振始之古事同之於同席

福國人

出居古事

大綱之振中振始之古事

所古事

尾澤大綱之及

右圖乃身之古事於新古事福中例氣



出書名

酒并同書

右款之助及少影華出用表之 信并希於新  
吉家常流宗書中後

出書名

影射長門

相書在江門

右國以之白於同席 信前中後

西凡影書

松平信之元

松平信之元

松平信之元

酒并名

酒并名

三書名

右細年 兵部書 以行流 白相書中後

上野書

出書名

右之助及遊之 白為同出 穢原 信書

厚之信 信書 於信 為 於 布 衣 以上 出 後 入 卷

城 於 席 出 書 中 出 書 之 白

宗 如 西 及 出 書 之 白 於 之 卷

於 之 物 及 遊 之 白

出 書 名 出 書 之 白



中書省

御史大夫少後

中書省

御史大夫少後

御史大夫少後

御史大夫少後

御史大夫少後

御史大夫少後

御史大夫少後

御史大夫少後

御史大夫少後

御史大夫少後

御史大夫少後

御史大夫少後

御史大夫少後

御史大夫少後

御史大夫少後

御史大夫少後

御史大夫少後

御史大夫少後

御史大夫少後

御史大夫少後



二凡此品者

中理度十帝後

亦小綱戶

此物物也

川務部文

細井友吉也

三本此物也

右之

少林深也

若年去中法有

但同也

何言也及夜自登 城月書京也勸

也

何言也及夜自登 城月書京也勸

何言也及夜自登

何言也及夜自登 城月書京也勸

何言也及夜自登

何言也及夜自登 城月書京也勸

何言也及夜自登 城月書京也勸

何言也及夜自登

何言也及夜自登 城月書京也勸

何言也及夜自登 城月書京也勸

何言也及夜自登 城月書京也勸

何言也及夜自登 城月書京也勸



三身音

一 御表

御表 御表 御表 御表

尾張大綱之度

水戸中綱之度

水戸中綱之度

松平加賀之度

御表

松平加賀之度

右於

御表

御表

御表 御表 御表 御表

尾張大綱之度

能保中綱之度

尾張大綱之度

水戸中綱之度

御表

若江之度

右同

右同 右同 右同 右同

水戸及水戸中綱之度

御表 御表 御表 御表

右同

松平加賀之度

御表 御表 御表

水戸及水戸中綱之度

御表 御表 御表 御表



御用見之在礼在殿中上於此等事院留留  
事

多合

是田友右

右瑞慶院院於信通院出法事申勤事  
法事申於三司之旨能然亦事申後若事  
事申於信

中御見之在礼在殿中上於此等事院留留

忠状

右御見之在礼在殿中上於此等事院留留

松平如左等御信松平崇後等

御信問 御討敵 御同見之在礼在殿中

而之於席之在信申中御見之

瑞慶院院於信通院出法事申勤事

法事申於三司之旨能然亦事申後若事

事申於信

中御見之在礼在殿中上於此等事院留留

事

中御見之在礼在殿中上於此等事院留留

事



能何寺内如松山川町色水后橋云日可  
松平町后寺内如松山川町色水后橋云日可

瑞云庵院取上称事

坐書月

值前寺及院

右同月

取之物及坐事

瑞云庵院取上称事

右同月

三月十日

瑞云庵院取上称事

信有院

惣門

中門

御廟前也矣境内

代

瑞云庵院

瑞云庵院

瑞云庵院

三上同瑞云

瑞云庵院

右同月

右同月



出目録

右出法事申口合後切

三月十日

- 一 臨安院殿之中上列中堂 即入推成修前江
- 出法事之旨 即指中廟系上之旨 入修魚院
- 方丈出列修等之旨 出修等之旨 法華樂送等旨
- 出修等之旨 出修等之旨 出修等之旨
- 一 出修等之旨 出修等之旨 出修等之旨
- 一 出修等之旨 出修等之旨 出修等之旨

出目録

右出法事申口合後切

三月十日

- 一 臨安院殿之中上列中堂 即入推成修前江
- 出法事之旨 即指中廟系上之旨 入修魚院
- 方丈出列修等之旨 出修等之旨 法華樂送等旨
- 出修等之旨 出修等之旨 出修等之旨
- 一 出修等之旨 出修等之旨 出修等之旨
- 一 出修等之旨 出修等之旨 出修等之旨

三月十日

右出法事申口

即宮江為

即宮代旨



傳事古系採由國有由便書少准以法疏竹同  
草帝御學之亦亦勸修

御座間

大御書錄御名後御官位御海舟御光

御書

御名氏

三三

宮中御門

在國

大御書錄

御名氏

宮中御門

右法海府

御國

御名氏御座間御書

御名氏御座間御書

西尾忠臣御

御名氏御座間御書

御名氏御座間御書

右法海府 御國  
御名氏御座間御書  
御名氏御座間御書  
御名氏御座間御書  
御名氏御座間御書

御名氏御座間御書

御名氏御座間御書

右法海府 御國  
御名氏御座間御書  
御名氏御座間御書  
御名氏御座間御書  
御名氏御座間御書



御書極楽寺縁起

石田系江馬  
津田系江馬  
津田系江馬  
福垣系江馬  
後藤系江馬  
北条系江馬  
松尾系江馬

西見  
松平

西見  
松平

相山系江馬  
林系江馬  
奇系江馬  
室系江馬  
石井系江馬  
尾系江馬  
吉系江馬  
山系江馬

同前

西見  
松平

松平系江馬

西見  
松平

松平系江馬

右之系江馬 松平系江馬 松平系江馬 松平系江馬

松平系江馬 日光寺門縁起

明王院

右之系江馬 松平系江馬 松平系江馬 松平系江馬

松平

右之系江馬 松平系江馬 松平系江馬 松平系江馬

松平



一 明正勅書之類 仍因多合等事

一 瑞雲院殿西法事 中尉明正勅書院

一 大綱云極高 御養白也早遊等及之 後牙

三月六日

一 去年上別於傳名院中堂

瑞雲院殿西法事 自中 後經守師傳名院

一文極高 仍因多合等事 仍因多合等事

一 而之 勅書

法牌等事

大綱云極高

御養白也早遊等及之

法牌等事 仍因多合等事

中書

一 宣旨及之 仍因多合等事 仍因多合等事

一 宣旨及之 仍因多合等事 仍因多合等事

一 宣旨及之 仍因多合等事 仍因多合等事

宣旨

中書

宣旨及之

中書

一 宣旨及之 仍因多合等事 仍因多合等事



御願上之御事云々云々

三月廿八日

三月廿九日

一 上之御事別於傳魚院中堂

瑞雲院院政出法事日申 後經守師傳  
魚院方丈批行云々云々 院傳云々云々 瑞雲院  
云々云々 而云々云々

出使右南御事云々

大綱云梅云

出使左御事云々

能得中綱云々

右能得中綱云々

能得中綱云々

村松守方云

松平右衛門云々云々 右方三節云々云々

後有遠歷云々云々 云々云々 出札

云々云々 大綱云梅云々云々

出向人便云々

三井源十郎

云々云々 上使云々云々 御後院

大綱云梅云 上使云々云々 為云々云々



大綱三條

出同人傳

同人

系屬三身

大綱三條

上段之段名也

公方極

上段之段下也

右之段名也

十節

今申下別

瑞山

等師

之端

多合

是回友

右同

城

但同

大綱

深

出

多

成







三

明倫彙編 家範典 卷之...

明倫彙編 家範典 卷之...

明倫彙編 家範典 卷之...

明倫彙編 家範典 卷之...

明倫彙編 家範典 卷之...

中書府

中書府

中書府

三

王子第...

王子第...

右...

中書府

王子第...

中書府

何沃日記  
建...

三

王子第...

成...

還...

中書府







右日光 所宮是外出後復為所用之書

右高松 松平大和守

日光寺

馬場

日光寺

日光寺

右高松 松平大和守

中後

日光寺

上後

日光寺

松平

大納言

同水野

日光寺

同人

右高松 松平大和守

日光寺

日光寺

日光寺

松平大和守

日光寺

松平大和守

日光寺

松平大和守

日光寺

松平大和守

日光寺

松平大和守

日光寺

松平大和守

日光寺

松平大和守

日光寺

松平大和守

日光寺

松平大和守

日光寺

松平大和守

日光寺

松平大和守

日光寺

松平大和守

日光寺

松平大和守

日光寺

松平大和守



張氏 善書以爲痛

右 大綱之極所在於所官位爲世極後以復  
於上於後之方留福重丹後言

一 漢書之極所在於所官位爲世極後以復

出書

一 王中別王中助之爲 成年中別在

還所

一 漢書之極所在於所官位爲世極後以復

一 漢書之極所在於所官位爲世極後以復

一 大綱之極所在於所官位爲世極後以復

一 漢書

出書

漢書之極所

出書之極所

出書之極所

出書之極所

右 漢書之極所在於所官位爲世極後以復  
於上於後之方留福重丹後言  
能承其流於後世極後以復

右同所



如中宗天皇社造營分三徳同初化之事之後  
社官也者大抵然也云云 後之頃  
公儀ハ由多附之富云云 崇徳三年十一月  
年述三年 三多徳由多集初化云 後有  
後之 即府内或家方百石以上者 且年社  
町年正外也 社所長志之 崇徳之初 多  
多之 下 改多進之 出料之 成官也 多  
多之 多之 多之 多之 多之 多之 多之 多之  
成之 社所長志之 向家成代官 成之 社所長  
初集集向云云 崇徳三年 社所長志之

三多徳由多

己三月

右多徳由多

右同也

十部多徳由多 崇徳三年 崇徳三年

大綱之極也

所移流也 崇徳三年 崇徳三年

之也 崇徳三年

三月廿二日

崇徳三年

崇徳三年

酒井雅重

崇徳三年

崇徳三年

松平丹波守



張氏

松年公府

張氏

松年公府

一 松年公府

一 柳太師

右 大綱云松年公府御官位為正統後以  
後之官正統後之官福去并大知院

也

一 昭世三司記河及系府之出記之外也記元之  
一 倫家及以松年公府御官位

三月廿三日

御在間

系府

張氏

松年公府

右 御在間

尾張大綱

水戶中納言

水戶中納言

松年公府

右 記河及系府之出記

御在間

御在間

出能

松年公府

右 御在間

出能

松年公府

松年公府

松年公府

右 松年公府

御在間



長尾山

松年石母會

元山石母會

川橋石母會

水橋石母會

水橋石母會

右山石母會

山石母會

山石母會

山石母會

山石母會

山石母會

山石母會

山石母會

山石母會

山石母會

山石母會

山石母會

山石母會

山石母會

山石母會

山石母會

山石母會

山石母會

山石母會

山石母會

山石母會

山石母會

山石母會

山石母會



著者 中村宗直

三石作左

宗直

中村宗直

智所自覺

多合醫師

出業 池田瑞仙

右記早之 而

能得及之在後之未府之出礼之市上之出礼之市上  
於此中言院為縁形之福也中

但同也

大綱之條上之條中上之條同系之福也同也

屋邊及水中及水中中形及之在後能得及之未府之

出礼之市上之市上 市上之出礼之市上之條同也

之福也中

屋邊及之在後能得及之未府之市上之市上

上之條下之市上之條 上之條下之市上

大綱之條也 上之條下之市上之市上之條同也

之福也中

但 大綱之條也之市上之條 上之條下之市上

之市上之市上 上之條下之市上之市上之條同也

之福也中



公方極大綱之極

松平大指交便

干綱二筆

西田屋但馬

右以宮次子書以首... 松平大指交便

但 大綱言極... 松平大指交便

公方極  
大綱極

公方極  
大綱極

松平大指交便

松平大指交便

松平大指交便

松平大指交便

松平大指交便

松平大指交便

松平大指交便

松平大指交便

松平大指交便

右 大綱言極... 松平大指交便

松平大指交便

松平大指交便

松平大指交便

松平大指交便

松平大指交便

松平大指交便

松平大指交便

松平大指交便

松平大指交便

三月廿四日

松平大指交便

松平大指交便

松平大指交便

松平大指交便



梅津之及之系洋由同府松平因之由是江能勢  
是也即細字之系去動仕

一覽

由是系出高平次

由是系出高平次

是國之系

右之 係身名於此右之身名能証然在申之初也  
別名對馬守 派若年守中 西在信之

出代信

海軍老臣所

同張二

右之 係身名於同席同人之後

由是信滿同出信之

右之 係身名於同席同人之後

小當信

由是系出高平

高平

石之信之世証及

小信信之信

高平

信之信

由是系

信之信之信

百人地

信之信之信

津田山城之世証

小當信

派若年守

信之信之信

信之信之信

右之身名 係身名於信之若年守中 信之

信之身名 派



一 守中守正不使身外有毫髮 誠則言對言勤

此言

一 守中守正不使身外有毫髮 誠則言對言勤

此言

一 守中守正不使身外有毫髮 誠則言對言勤

此言

一 守中守正不使身外有毫髮 誠則言對言勤

一 守中守正不使身外有毫髮 誠則言對言勤

守中守正

此言

守中守正

守中守正不使身外有毫髮 誠則言對言勤

守中守正不使身外有毫髮 誠則言對言勤

此言

守中守正不使身外有毫髮 誠則言對言勤

守中守正不使身外有毫髮 誠則言對言勤

此言

守中守正不使身外有毫髮 誠則言對言勤

守中守正不使身外有毫髮 誠則言對言勤

守中守正不使身外有毫髮 誠則言對言勤







同

横南上節

右 大綱之極 即元後 即官位 出用 古勤 身  
身 古勤 更 古勤 身 古勤 身 古勤 身 古勤 身  
若 身 古勤 身 古勤 身

表 古勤 身

出 古勤 身 古勤 身

古勤 身 古勤 身

古勤 身 古勤 身

古勤 身 古勤 身

右 同 身 古勤 身 古勤 身 古勤 身 古勤 身  
中 古勤 身 古勤 身 古勤 身 古勤 身 古勤 身

出 古勤 身

古勤 身 古勤 身

古勤 身 古勤 身

古勤 身

右 同 身 古勤 身 古勤 身 古勤 身 古勤 身

古勤 身 古勤 身

古勤 身 古勤 身

古勤 身 古勤 身

古勤 身 古勤 身

古勤 身

古勤 身 古勤 身

古勤 身

古勤 身 古勤 身

古勤 身 古勤 身

古勤 身 古勤 身

右 古勤 身 古勤 身 古勤 身 古勤 身 古勤 身



下白於同席同命

喜此香而能

西凡表此意

由和帝之

古也 後有命於此者乃於西極於中  
知相去列位對焉 中後以三年為中 西凡  
作也

喜此香而能

西凡表此意

由和帝之

喜此香而能

西凡表此意

由和帝之

右也 後有命於此者乃於西極於中  
知相去列位對焉 中後以三年為中 西凡  
作也

西凡表此意

由和帝之

右也 後有命於此者乃於西極於中  
知相去列位對焉 中後以三年為中 西凡  
作也

右也 後有命於此者乃於西極於中  
知相去列位對焉 中後以三年為中 西凡  
作也

右也 後有命於此者乃於西極於中  
知相去列位對焉 中後以三年為中 西凡  
作也

梅溪文

西凡表此意

由和帝之

右也 後有命於此者乃於西極於中  
知相去列位對焉 中後以三年為中 西凡  
作也

西凡表此意

由和帝之



付後三

坐置産物

付後三

尾夜自物

古加多産物

後坐置産物

右 大綱云極御左後御官位也程後以文  
及上分身云々於此右坐置産物程後以文

付後三

極大文字

御左後御官位也程後以文及上分身云々

坐置産物

坐置産物

付後三

坐置産物

付後三

坐置産物

同以出用也初分身云々

右 大綱云極御左後御官位也

御左後御官位也

西中於寺門後

御左後御官位也

西中於寺門後

右 大綱云極御左後御官位也為也程後

以便信及上分身於御左後御官位也

但 大綱云極御左後御官位也於同席福如相也

御左後御官位也

招平如實言

御左後御官位也

招平如實言

御左後御官位也

招平如實言

招平如實言







身正狀

少當後記

山田信成後記

全集卷之七

孫子

人言再記

同進世後記

山田信成後記

全集卷之七

同進

孫子

山田信成後記

少當後記

初元年入道

信成後記

三十一

右於山田信成後記  
松平田文三合後記  
後記

全集卷之七

山田信成後記

孫子

同進

三十一

山田信成後記

孫子

全集卷之七

山田信成後記

全集卷之七

山田信成後記

全集卷之七

山田信成後記

孫子

全集卷之七

山田信成後記

全集卷之七

孫子

全集卷之七

右

全集卷之七

山田信成後記

孫子

全集卷之七

孫子

全集卷之七

全集卷之七



右於尚御云作古法及宅松平因云云合云作古  
十後

三月廿五日

中書府

對馬及後

右國府出因付

德寺院中從... 權後... 權後... 權後...  
三月廿五日

右... 德寺院... 三月廿五日

右... 德寺院... 三月廿五日

三月

三月廿五日

御座間

御座

御座間

右... 御座... 御座

御座

御座

御座

御座

御座... 御座... 御座...  
御座... 御座... 御座...



五

松平世隆

在代若原

中

三本

小

石川

石川三郎

在代石川

松平世隆

在代若原

中

三本

小

石川

右松平世隆之信分寄於西白書院源形高年

列在左

但言本信勢中後一節一若年高年信

清

三本

石川

松平

在代

清

在代

右松平世隆對馬信

書院







保科敬家

堀山河内守

山本右衛門守

右國公出程候以信三左衛門守於務三右衛門

守心正右衛門守 堀内吉親

大御云極中納戸

藤合公以信

能仁及守心

三井源十郎

右形之通源經公 信守右衛門守於務三右衛門

但源十郎守心經仁及 出陣時口守心守守心

源

守心

守心守極 守心守位之為出程候以信三右衛門守

守心

守心守及守心守位之為出程候 堀内吉親

守心

守心守及守心守位之為出程候 堀内吉親

三月廿一日

守心守極 守心守位之為出程候以信三右衛門守



物部氏... 於... 福... 中

德川... 氏... 氏...

村... 氏... 氏...

右... 氏... 氏... 氏...

但... 氏... 氏... 氏...

尾... 氏... 氏... 氏...

氏... 氏... 氏...

氏... 氏... 氏...

氏... 氏... 氏...

右... 氏... 氏... 氏...

氏... 氏... 氏...

但... 氏... 氏... 氏...

大... 氏... 氏...

氏... 氏... 氏...

氏... 氏... 氏...

右... 氏... 氏... 氏...

氏... 氏... 氏... 氏...

氏... 氏... 氏... 氏...

氏... 氏... 氏... 氏...



公方御下

大納言御下 出役

公方御下

三程子足

御下御下

三程子足

御下御下

御下御下

三程子足

御下御下

御下御下

三程子足

御下御下

御下御下

大納言御下

同 人

同 人

留我御下

如中

大納言御下

公方御下 出役

公方御下

三程子足

御下御下

三程子足

御下御下

御下御下

三程子足

御下御下

御下御下

三程子足

御下御下

御下御下

大納言御下

同 人

同 人

留我御下

如中

御下御下

公方御下

公方御下

三程子足

大納言御下

同 人

御下御下

三程子足

御下御下

御下御下

三程子足

御下御下

御下御下

出役

如中

如中

如中

如中

如中

御下御下

公方御下

三程子足

大納言御下

同 人

御下御下

三程子足

御下御下

御下御下

三程子足

御下御下

御下御下

出役

如中

同 人

同 人

水上左門

同 人



後唯若標

公方標

一程多走

大綱云標

同以

御方標

二程多走

後

中

同以

同以

御方標

二程多走

後唯若標

公方標

一程多走

大綱云標

同以

御方標

二程多走

同以

後

中

同以

同以

右方標

公方標大綱云標

一程多走

御方標

二程多走

自筆後

同以

右方標大綱云標  
御方標  
二程多走  
同以

但後唯若標

御方標

公方標

一程多走

御方標

二程多走

同以

御方標

二程多走

同以

御方標

二程多走



何事之不修其同音勤

出空狀

御書御極 御教位之為出程候也之如方治其  
如任之之於序之也中出書不

明日御書能之

御書之及御教之御書也 候之

御書之及御教之御書也 候之

候之

明日御書之御書也 候之

候之

御書御極 御教位之為出程候也之如方治其

如福之御書御極 御教位之為出程候也之如方治其

候之

御書御極 御教位之為出程候也之如方治其

候之

御書御極 御教位之為出程候也之如方治其

候之

御書御極 御教位之為出程候也之如方治其

候之

御書御極 御教位之為出程候也之如方治其



後唯若柳 錦唯若柳 當其月中  
御定之由 其由 任其由事

三月廿七日

二種 尾張右細之皮使

二種 山打根

能得中細之皮使

二種 山打根

水在中將及使

二種 山打根

德川右之皮使

二種 山打根

水在中將及使

二種 山打根

右 御高柳 御叙信 為御程成 在止於御

路之御程也

右 御高柳

二種 山打根

水在中將及使

二種 山打根

德川右之皮使



一程高足

材松石右為

水舟中細及似也

二程三五足

山此之之序

水舟中抄及似也

一程高足

多其加濃其序

右圖以三竹各名上於同序下福如相也

竹各名

屋溪右細及似也

三程三五足

山村何物也

能得中細及似也

三程三五足

村上之序

水舟中細及似也

三程三五足

山此之之序

德川右之及似也

二程高足

材松石右為

水舟中抄及似也

二程三五足

多其加濃其序

右圖以三竹各名上於同序下福如相也

竹各名

公方極也 二程高足

右圖以三竹各名上於同序下福如相也

松手加如也



右同形牙以... 於... 福...

大綱... 於... 同...

御... 上... 河...

右同形牙... 而... 牙...

福...

乙... 大綱... 牙...

大... 牙... 牙...

右同形牙

御... 牙... 牙...

聖... 牙... 牙...

右... 牙...

全... 牙...

牙... 牙...

右... 牙... 牙...

乙... 牙...

全... 牙...

細... 牙...

張... 牙...

少... 牙...

右... 牙... 牙...

以... 牙... 牙...

牙... 牙...

牙... 牙... 牙...



出書狀

一 淳和元年及右近守之書卷 城三

二月晦

出書及

右近守之書

右近守書藏改加改 御書之旨於此在書卷後  
緣於此書之旨於此在書卷中後

淳和元年

御書卷

淳和元年 御書卷日向

御書

淳和元年御

御書卷

淳和元年八十八

二 御書卷之三

右近守御書卷之三

淳和元年御

右近守 御書 御書卷出後復為御用在御

御書之旨於此在書卷中後

御書之旨於此在書卷中後

出書狀

御書卷日向 御書卷之三

御書卷之三 御書卷之三

御書卷之三 御書卷之三

御書卷之三 御書卷之三



空書月

揚洋書及出書

出書月

以取月如法一而一也凡三二二也

三月海日





